平成27年度事務事業評価シー - <mark>▼ 取組みコード</mark>

担当課 作成日 福祉支援課

344

事務事業 区分 平成27年5月15日 事業名 遺族激励大会開催経費 開始年度 不明 予算科目 3.1.1.4.2

1 事業の概要

争未の概要									
総合計画での位置づけ									
部	第3部 健康でゆとりとふれあいのまちづく	ノ <mark> 章</mark>	第4章 ふれあいとささえあいのある社会福祉の充実						
節	第4節 生活の安定と社会保障の充実	基本施策							
取組みの) <mark>基本方向</mark>	•							
根拠法令	等なし								
目 的 (誰・何を対象に、何のために)									
内容・方。 (何を行っ いるのか	変川可退族会に対し、激励恋女人会事 ・隔年実施 ・ * 韓国神社への会様ほか	業を委託する	ర .						

2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

	1 247 L	<u>, 11</u>	GEWI CHOOL						
			指標名	平成21年度 平月		或28年度			
本事業が属する総合計画の 節の成果指標			の安定と社会保障の充実』に 「満足」と感じる住民の割合	23.6%			34.0%		
(A)総合計画の節の目標を るため本事業に求められ			戦没者遺族の福祉増進						
(A)の成果をあげられているか 測るための指標(成果指標)	増減	Ž	指標の説明	項目	基準 (平成2		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	増		参加者数を指標とし、	計画値			100.0	0.0	100.0
激励慰安大会参加者		交	流が図られた度合い	実績値	125	5.0	100.0	0.0	
		をみる。		達成度※自動計算			100.0		0.0
(B)成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動									
(B)の活動状況を測るため の指標(活動指標)	増減	į	指標の説明	項目			平成25年度	平成26年度	平成27年度
ᄬᄗᄝᅺᅩᇫᇰᄜᄲᄼᆂ	増			計画値			1.0	0.0	1.0
激励慰安大会の開催(委 託)回数		同]左	実績値		_	1.0	0.0	1.0
				達成度※自動計算		<u> </u>	100.0		100.0
※ 角減爛け 均種の値にへい		1244	mが胡ましい担合に「抽」	3年4に2%世界に	2-1-5-1	ロ ヘコー	「油」を記り	. 上 マ	

[※] 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

8,300,000 (E) 平均人件費(円/年) 3 事業費の推移と財源内訳 基準年度(決算) 年 度 平成25年度(決算) 平成26年度(決算見込) 平成27年度(予算) (平成23年度) (A)事業費(円) 840,000 840,000 0 840,000 0.000 0.002 (B)概算職員数(人) 0.002 0.002 $(C) = (B) \times (E)$ 16,600 16,600 0 16,600 人件費(円) ※自動計算 (D) = (A) + (C)856,600 856,600 0 856,600 総事業費(円)※自動計算 単位当たりコスト※自動計算 6,852.8 8,566.0 #DIV/0! 国庫支出金 県支出金 定 源 財 内 地方債 源 訳 その他 0 一般財源※自動計算 856,600 856,600 856,600

4 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定		
	法令等で義務付けられた事業である				
	民間サービスで同様の事業は実施されていない、市場原理に委ねるこ	O			
	国や県において同類種の事業が実施されていない	O			
妥当性	事業開始時から事業目的や町民の二一ズの変化がない	O			
(公費を投入して実施することが妥当な	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている	•	B		
事業か)	受益に応じた負担は適正である	0			
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である				
	町民の日常生活に必要不可欠な事業である	0			
	上記のいずれにも当てはまらない	0			
有効性 (基準年と比較して	成果指標について平成26年度の目標を達成している	0	D		
成果が上がっているか)	 基準年度と比較して成果が向上している	×	В		
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	<mark>なるべく費用をかけ</mark> 基準年度と比較して費用の縮減ができている ^{*に成果を上げてい} (費用の縮減率が成果の向上率以上か)				
有用性	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	間接的	D		
目標達成に貢献しているか)	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	В		
	総合評価 ※自動判定 改善すべき点が				

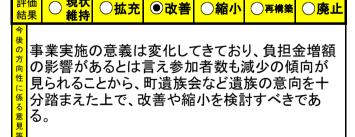
5 特記事項

平成24年度、平成26年度は事業を実施していないことから、平成23年度と平成25年度の比較により評価を実施した。遺族会会員の高齢化により、激励慰安大会参加者が減少傾向にあるものの、比較対象年度においては、参加者負担金の見直し(23年度:1,000円→25年度:2,000円)があったため、一概に比較は難しい。

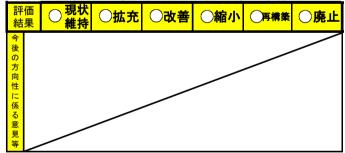
6 自己評価(担当課)

評価結果	果(現状維持	○ 拡	充 (改善	○ 縮	小	○再構築	〇 廃	止
理由	15	は没者遺族の福祉 表実施する。	业増進や交	:流促進、ま	た遺族援護	の必要性か	ら、隔年野	実施により町遺族	会への委	託を継
今後の方向性	σ_{\pm}							会員また遺族》 こ、改善・縮小の		

7 1次評価(庁内行政評価委員会)



8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)



9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

本事業は隔年実施であることから、負担金増額の効果について明確に判断できない状況にある。よって、今年度の事業終了後、その実施の状況を踏まえ、平成28年度中に平成29年度実施事業についての改善・縮小の方向性を遺族会とも協議・検討したうえで、決定する。

10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	○現状維持	○ 拡 充	● 改善	○ 縮 小	○再構築	〇 廃 止
			27年度の事業実 戊29年度から改善			こ町遺族会と協